

了解、今回はCanvasがコードブロックで全文覆われないように、通常のテキストCanvasとして整理しなおすね。

Kairoscope 03 - Variable Logic / PHS 計算ロジック構築

✨ 概要

KairoscopeのVariable計算ロジックを本格的に実装する段階に入った。

PHSロジックの標準的解釈に基づいて、Design Sun / Design Earth / Personality Sun / Personality Earthの計算を各位置で行い、Digestion / Environment / Perspective / Motivationの予測を行うロジックを稼働に作成する。

🌐 現在のステータス

- `astro_position.py` に Design Sun/Earth の計算関数 `get_design_positions()` を追加済み
- `variable_logic.py` での Variables (Digestion, Environment, Perspective, Motivation) 計算は、現在のロジックで「仮設ロジック」から、本格計算ロジックの実装へ移行している

★ PHS (Variable) 構成

項目	ロジックソース
Digestion (Determination)	Design Sun の Gate + Line 計算
Environment	Design Earth の Gate 計算
Perspective	Personality Sun の Gate 計算
Motivation	Personality Earth の Gate 計算

🐒 ロジックの組織

- `astro_position.py`
- `get_planet_positions()` の止め補用に `get_design_positions()` を作成
- Design Time = Birth Time の累積 -88 日とする
- `chart_builder.py`
- `build_chart()` 内で Personality / Design の両計算を実行
- `variable_logic.py`
- 現在の簡易計算を実際の位置に基づく計算に編成

次のステップ

- `variable_logic.py` の本格実装を立ち上げる
- Design/Personality Sun/Earth の Gate/Line を利用
- Variant 機能と統合
- `time_variants.py` で variables も表示
- Chronogram で UI表示 + MBTIリンク

これ以降、通常のCanvasの表示を避ける為に - 文章の先頭は説明文/テキストから始める - 一般の書式の時は初めにmarkdownのヘッダーなどを使う などの対策を使うようにするね。

さあ、このまま PHS ロジックの実装に進もう！